

大雨や台風、線状降水帯に 備えましょう

大雨や台風、線状降水帯は多くの被害をもたらします。普段から備えることがたいせつであるという意識を持ちながら、適切な備えをすることで被害を最小限に食い止めることができます。

備えその1 防災グッズの準備

非常食、水、懐中電灯、ラジオ、カイロ、簡易トイレなどを事前に準備しておくことで、災害発生時に慌てずに安心して対応することができます。



備えその2 避難場所や危険な場所の確認

「白岡市地震・洪水ハザードマップ」を活用し、市が指定する避難所や高台など、安全な場所を事前に確認しておきましょう。災害時に避難する場所を家族全員が知っておくことで、災害時に混乱することなく、迅速に避難することができます。



▲ハザードマップ



備えその3 家の点検

屋根や雨どい、排水溝など、水が流れる場所を点検しておきましょう。また、庭やベランダに置いてある物の片付けや、雨戸を閉めることで、ガラスなどの飛散や、風で飛ばされた物による被害を減らすことができます。



備えその4 防災行政無線以外の情報収集

大雨や台風、線状降水帯が発生すると、市の防災行政無線で大雨に関する放送を行いますが、雨音などに遮られ、聞こえにくくなるのが予想されます。防災行政無線の放送以外で情報を入手する手段を確認しておきましょう。

★NHKのdボタン

台風や大雨が近づいてくると、天気予報の放送時間を待たずに、地域の防災に関する情報を簡単に入手できます。

- ①テレビをつけ、リモコンで「1」ボタンを押し、「NHK」を表示します。
- ②リモコンのdボタンを押し、「選択画面」を表示します。
- ③「地域の防災・生活情報」を選択します。
- ④知りたい情報を確認しましょう。



★安心安全メール

メールアドレスを登録しておくことで、防災行政無線の放送内容や、冠水地点、避難所開設情報、その他市からのお知らせを受信することができます。



▲登録はこちら

★市公式LINE、Twitter

LINE

友だち登録後、「受信設定」の「お知らせ受信設定」で「白岡市防災メール」の受信をオンにすると防災情報などの通知を受け取れます。



▲友だち登録はこちら

Twitter

白岡市(@shiraokasaitama)をフォローすると、防災情報や市のお知らせなどを入手できます。



▲フォローはこちら

★防災行政無線個別受信機

防災行政無線の放送が聞きにくい地域にお住まいのかたを対象に、無線放送を自動受信する受信機を貸し出しています。

対象 市内在住で、携帯電話を所有しておらず、次の(1)~(4)のいずれかに該当するかた

- (1)世帯構成員の年齢が75歳以上のかた
- (2)身体障害者手帳の交付を受けており、1級または2級に該当するかた
- (3)療育手帳の交付を受けており、④またはAに該当するかた
- (4)精神障害者保健福祉手帳の交付を受けており、1級に該当するかた



クイズに挑戦

風水害に備えていますか？

Q1. 大雨が降り続き、水害が迫っていて、避難が予想されます。避難場所はどこになるでしょうか。

- ㊦ 自宅などの建物の2階
- ㊧ 指定避難所（市内の小中学校など）
- ㊨ 遠い場所にある親戚や知り合いの家



A1. 全てが避難場所です。
(解説)

- ア) 2階以上で浸水しない建物であれば、在宅で避難ができます。住み慣れた場所であればストレスは小さく、避難場所へ移動する際の危険や感染症のリスクを避けることもできます。
- イ) 地上階で浸水の影響を受ける建物にいる場合は、安心安全メールなどでお知らせします。指定避難所へ早めに避難をしましょう。
- ウ) 水害の影響を受けない地域へ避難することを「遠方避難」と言います。

Q2. 避難が難しくなる水位は何センチメートルでしょう。
自動車は()cm、歩行は()cm

A2. 自動車は水深30cm~50cmで浸水した場合、ドアが開かなくなり、エンジンが停止する可能性があります。歩行は水深50cmを超えると、水の流れが無くても歩くことが危険になります。

Q3. 2日後に大雨の気象予報が出ています。これからの気象情報を収集する手段を2つ以上お答えください。

A3. 答えはこの記事の中にある★マークをご覧ください。